

党大会で大沼氏が司会、大内氏が議事進行

記者席ノート

◇…自民党の第83回定期大会が13日、東京・高輪で開かれ、党女性局長代理の大沼瑞穂参院議員(山形選挙区)が司会を務め、議長団の1人に党県連女性局長の大内理加県議(山形市区)が起用された。間近に迫った次期参院選での勝利を目指し、全国から約3500人が結集した大舞台で、山形の女性2人が活躍した。

女性局長の高階恵美子参院議員(比例)が任期満了で次期参院選に出馬するため、代理の大沼氏は青年局長の牧原秀樹衆院議員(比例北関東)と若さあふれる演出。議長団は地方議員3人で、紅一点の大内氏は堂々と議事を進行した。

定期大会が終了した後は参院選の決起大会。安倍晋三首相(党総裁)は「若い世代に責任を持つことができるのは自民だけであり、共に輝く日本をつくろう」と呼び掛けた。壇上には山形選挙区の月野薫氏ら公認・推薦候補予定者70人



(一部代理)が並び、必勝を期して万歳を三唱。大沼、大内両氏は壇上でがっちり握手を交わし、互いをねぎらった写真。